

令和3年度 大分県優秀健康経営事業所（知事顕彰）

大分県優秀健康経営事業所の表彰式が大分県庁にて開催されました（令和3年8月25日）。

本賞は、従業員の健康支援が会社の成長につながるという経営方針をかけた、その取り組みが、特に優秀で他の事業所の模範となる事業所に授与するものです。事業所の規模も業種も様々ですが、それぞれ事業主のリーダーシップのもと、しっかりと取り組んでいます。令和3年度は、以下の5事業所が顕彰されました。

優秀健康経営事業所の主な取り組み（会社名五十音順）

▶ 旭化成株式会社 大分工場（大分市／製造業／従業員数207人）

「健康経営(健康保持・増進、組織活性)の推進」を目標に掲げ、働く社員一人一人の健康に留意した取り組みを展開。健康診断時に合わせて体力測定を実施。健康診断後の特定保健指導では、5つのプログラムを準備し、各自がプログラムを選択できる体制を充実。広い場内を利用し、おおいた歩得を参考に場内ウォーキングイベントを実施し、70%の参加率を得ており、事業所ぐるみの健康増進を図っている。

▶ 医療法人孝寿会 伊藤医院（竹田市／医療・福祉業／従業員数22人）

県の制度開始を機に健康経営事業所に平成26年から登録。平均年齢57.7歳と高齢化する職員が笑顔で働き続けられるよう環境を整備してきた。禁煙支援では、喫煙中の従業員に孫が誕生する機会を捉え、タイムリーに禁煙サポートを導入し、喫煙率は0%を達成。離職率も低い。

▶ 医療法人社団 仁泉会（別府市／医療・福祉業／従業員数275人）

健康運動指導士と衛生委員会が協力し、全職員へ喫煙や腰痛などに関するアンケートを実施。毎年全職員へおおいた歩得アプリの紹介チラシを配布。現在のダウンロード率は約47%へ。職員同士で歩数に関する会話も増え、4kg減量に成功した職員もいて成果を上げている。

▶ 大分キャンオン株式会社（国東市／製造業／従業員数3,301人）

「健康第一主義」「三自の精神」の行動指針に基づき、令和元年に「健康経営ダントツ宣言」を社長メッセージとして発信。働きがいのある職場を目指したワークライフバランス推進を職場環境の土台とし、シフト勤務や充実した休暇制度等の人事制度を整備し経営、部門、社員が三位一体となり健康経営を推進中。全員がイキイキと活躍できる健康増進活動として、社員食堂では、ヘルシーメニューの提供や野菜キャンペーンを開催するなど食環境へも配慮している。

▶ 社会福祉法人 太陽の家（別府市／医療・福祉業／従業員数133人）

障がいの有無に関わらず太陽の家の仲間たちが自立した日常生活、また社会生活を営むことができるよう各作業環境の改善や健康面での相談体制を整えるなど風通しの良い職場風土づくりに取り組んでいる。受動喫煙対策では、理事長が先頭に立ち利用者や関連企業とも協議を重ね、プロジェクトチームで戦略的に禁煙を進め、喫煙率23.0%(昨年)から17.2%(7月時点)へ低下し、成果を上げている。



左から旭化成(株)大分工場、医療法人孝寿会伊藤医院、医療法人社団仁泉会、大分キャンオン(株)、社会福祉法人太陽の家